



BALMUDA The Brew

コーヒーマーカー(家庭用) K06S-SB

取扱説明書 保証書付

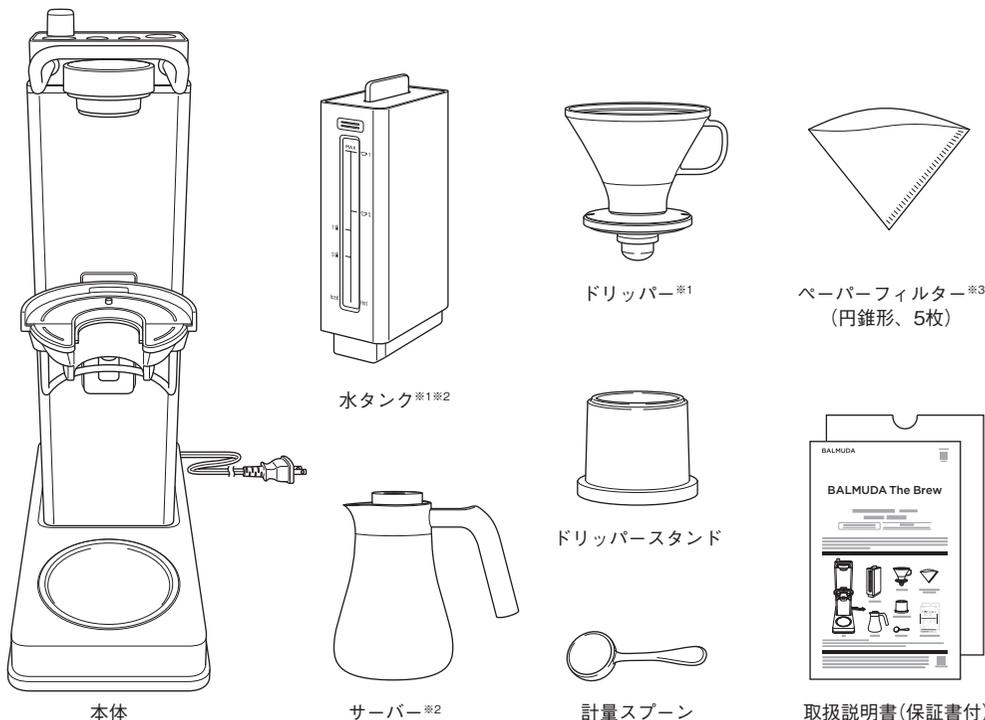
FOR USE IN JAPAN ONLY
WARRANTY VOID IF USED OUTSIDE JAPAN

日本国内専用

日本国外では使用できません。保証や修理の対象外となります。

このたびは、「BALMUDA The Brew」をお求めいただき、誠にありがとうございます。ご使用前に必ず本書、および本書の「安全上のご注意」(P.1)をお読みください。また、「△」マークと併記されている内容は特に注意してください。本書は保証書をかねております。「お買い上げ日・販売店名」がわかる購入証明書とともに、お読みになった後も大切に保管してください。

パッケージ内容



※1 お買い上げ時は本体に取り付けられています。

※2 お買い上げ時は水タンク用フタ、サーバー用フタが取り付けられています。湯通しや抽出は取り付けられた状態で行ってください。

※3 ペーパーフィルターは別途ご購入いただけます。「別売品」(P.5)を参照してください。

製品ユーザー登録のお願い

BALMUDAではお客様に最適な製品サポートを受けていただくために、製品ユーザー登録をお願いしております。登録にはシリアルナンバーの入力が必要です。シリアルナンバーは、梱包箱または本体底面のラベルで確認できる、13桁の英数字です。本体底面を確認する場合は、水タンクを空にし、ドリッパーとサーバーを取り外した状態で本体胴部を持ち、横に寝かせてください。



ご登録はこちら

ご使用前によくお読みのうえ、正しく使用してください。この取扱説明書に記載の注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、人体やペットへの危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。

誤った使用によって生じる危害や損害を区分して表示しています。

 **警告** 「死亡または重傷を負う恐れがある内容」を示しています。

 **注意** 「軽傷を負う恐れがある内容」を示しています。

注記 「家屋・家財などの損害が発生する恐れがある内容」を示しています。

使用上お守りいただく内容を図記号で説明しています。

 「してはいけない内容」を示しています。

 「しなければならない内容」を示しています。

 「一般的な注意内容」を示しています。

警告

設置について



カーテンなど可燃物の近くで使用しない。コンロやストーブ、電子レンジの近くなどの熱の影響を受ける場所に設置しない。熱に弱い敷物の上では使用しない。火災の原因となります。

本体を布などで覆わない。ヤケド、火災、故障の原因となります。

本体底面の水抜き穴に金属物や異物を入れない。感電、故障の原因となります。

本体から発する蒸気や水がかかる場所に、他の電気製品や木製家具、本などを置かない。蒸気により、火災、故障、周辺物の変色や変形の原因となります。

電子レンジなど他の機器の上に本体を置かない。他の機器を本体の上に置かない。ヤケド、火災、故障、誤作動の原因となります。

浴室などの湿気が多い場所、水に濡れた場所、蒸気が発生する機器の近くでは使用しない。感電、火災、故障の原因となります。



「設置する」(P.7)を参照し、ベースや本体胸部を持って運び、設置する。他の部分を持つと不安定となり、ケガ、故障の原因となります。

水平で安定した場所に設置する。

不安定な設置は、使用中に転倒する原因となります。また、水などがこぼれ、感電の原因となります。テーブルからはみ出した状態で使用しないでください。また、カーテンなどが触れる場所には設置しないでください。

「設置する」(P.7)を参照し、本体とその周辺に隙間を空けて設置する。壁がプラスチックなど熱に弱い素材の場合は、より多くの隙間を空けて設置する。

熱、蒸気、湯気が滞留し、火災、故障、周辺物の変色や変形の原因となります。また、コーヒーが飛散し、周囲が汚れる原因となります。

電源コードについて



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。感電の原因となります。

電源コードに負荷がかかる状態で使用しない。電源コードの熱による発火の原因となるため、次の行為はしないでください。傷をつける／加工する／熱器具に近づける／折り曲げる／引っ張る／束ねて使用する／踏みつける／ねじる／重いものの下敷きにする

電源コードが破損した場合、自分で交換しない。

感電、火災の原因となります。電源コードの交換はバルミューダサポートセンター(P.5)へご連絡ください。



定格電流15A以上、交流100Vのコンセントを単独で使用する。また、延長コードを使用する際は、定格電流15A(1500W)以上のものを単独で使用する。

定格を満たしていないコンセントの使用や他の機器との併用は、熱による火災の原因となります。

電源プラグは根元までしっかり差し込む。電源プラグが正しく挿入されていないと、感電、熱による火災の原因となります。

コンセントから抜くときは、電源コードではなく電源プラグを持って引き抜く。感電、ショートによる火災の原因となります。

使用後や本製品を使用していないときは、電源プラグをコンセントから抜く。感電、火災の原因となります。

使用・お手入れについて



子供や取り扱いが不慣れな方、介助を必要とする方だけで使用させない。乳幼児の手の届く所で使用しない。

本製品(電源コード含む)で遊ばないように、子供から目を離さない。

ヤケド、ケガ、感電、火災、故障の原因となります。

分解、修理、改造は行わない。操作パネル(P.6)をはがさない。

火災、故障の原因となります。修理はバルミューダサポートセンター(P.5)へご連絡ください。

本体や電源プラグ、電源コードを水につけない。浴室や流し台など水を使用する場所の近くでは使用しない。また、屋外では使用しない。

感電、火災、故障、本体の変形の原因となります。

取扱説明書の記載以外の使いかたで本製品を使用しない。弊社が推奨していない目的で本製品を使用しない。

感電、火災、故障の原因となります。ドリッパー、サーバー、水タンクは本製品専用です。

サーバーをコンロ、ストーブ、電気ヒーター、IH調理器などの上に載せない。また、電子レンジで加熱しない。火災、故障、変色の原因となります。

外部タイマーや遠隔操作システムに接続しない。

それらの製品に接続することは想定していません。

本体を水洗いしない。水気の多い布で水拭きをしない。

感電、故障の原因となります。水拭きする際は固く絞った布をご使用ください。



本体、水タンク、ドリッパー、サーバーを落下させたり衝撃を与えたりしない。他の製品の部品や付属品、サーバーなどを組み合わせて使用しない。

ヤケド、ケガ、感電、火災、故障の原因となります。

標高2000m以上では使用しない。

感電、火災、故障、蒸気の異常吹き出しによるヤケドの原因となります。



異常、故障時には直ちに使用を中止する。ケガ、感電、火災の原因となります。使用を中止し、バルミューダサポートセンター(P.5)へご連絡ください。

【異常・故障例】

- ・電源コード、電源プラグが異常に熱い。
- ・本体が変形している、異常に熱い。
- ・電源コードが破損している、触ると通電しなくなる。
- ・電源プラグをしっかり奥まで差し込めない。
- ・本体が温かい(運転中、運転直後を除く)。
- ・本体から水やコーヒーが漏れている。
- ・本体が落下、転倒した。

本体の移動は、本体内部の水を排出してから、本体が十分に冷めた状態で、電源プラグを抜き、サーバーを取り外し、水タンクの水を捨ててから行う。

上記に従わずに本体を移動すると、ヤケド、ケガ、感電、故障の原因となります。

本体内部の水の排出は、ドリッパーとサーバーを取り付け、電源プラグをコンセントに差し込み、P.11 **7** **8** を行ってください。

電源プラグを定期的に清掃する。

電源プラグにホコリがたまると、火災の原因となります。電源プラグをコンセントから抜き、乾いた布で拭き取ってください。

注意

使用・お手入れについて



サーバーを極端に傾けない。注ぎ口と逆方向に傾けない。

サーバー上部からコーヒーが漏れ、ヤケドの原因となります。

コーヒー粉を50g以上セットしない。

コーヒー粉を入れすぎるとコーヒーがあふれて、ヤケドの原因となります。また、蒸気によりコーヒー粉が飛散し、周囲が汚れる原因となります。P.7を参照し、コーヒー粉を入れてください。

湯通し中や抽出中、またはサーバーを取り付けた状態で、本体を移動させない。

サーバーが落下し、ヤケド、ケガ、感電、故障の原因となります。

湯通し中や抽出中にサーバーを取り外さない。サーバー用フタを取り外した状態で湯通し、抽出をしない。カップや他社製のサーバーなど、付属のサーバー以外のものを取り付けない。

ドリッパーからコーヒーがあふれたり、バイパス注湯口(P.7)からのお湯がこぼれたりして、ヤケドの原因となります。

キャンピングカー、船舶、飛行機などの内部では使用しない。

本製品は家庭内での使用を想定しています。揺れ、振動による落下、転倒などにより、ヤケド、ケガ、故障などの原因となります。



水タンク内に水以外の液体(熱湯、ぬるま湯、牛乳、アルコール、コーヒーなど)や硬度の高いミネラルウォーター、コーヒー粉などの異物を入れない。ドリッパーやサーバーに異物(砂糖、牛乳など)を入れない。

ヤケド、故障の原因となります。ミネラルウォーターやアルカリイオン水などは内部に石灰分がつきやすいため、おすすめしません。

水タンク用フタを開けたままにしない。

ゴミやホコリが混入する場合があります。

水タンクのMAXの刻印より多く水を入れない。

感電、故障の原因となります。



使用後は必ずお手入れする。その際、水タンク内の水を捨て、本体と水タンクの接続部の水分を拭き取る。

ドリッパーにコーヒー粉を残したままにしたり、水タンク内に水を残したままにしたりすると、におい、腐敗による健康被害、故障、変色の原因となります。

「お手入れ」(P.11)を参照し、定期的にお手入れを行う。

故障やノズル内部の詰まりなどによりお湯が飛散し、ヤケドの原因となります。

湯通し・抽出に際して



使用中は本製品から離れない。

ヤケド、ケガの原因となります。離れるときは、必ず電源ボタンを押して電源を切ってください。

湯通し中や抽出中は、蒸気や抽出されるお湯に触れない。ノズルや抽出口、バイパス注湯口(P.7)に顔や手を近づけない。操作パネル以外に触れない。一時停止後、中止後、湯通し後、または抽出後のしばらくの間は、操作パネル、ドリッパー取っ手、サーバー取っ手、電源プラグ以外に触れない。

蒸気、お湯、コーヒーの飛散により、ヤケドの原因となります。



ドリッパーに水を継ぎ足さない。

コーヒーがあふれて、ヤケドの原因となります。



サーバーは空にしてから使用する。

サーバーにコーヒー、牛乳、氷などを入れた状態で湯通しや抽出をすると、お湯やコーヒーがあふれて、ヤケド、感電の原因となります。アイスコーヒーをいれる場合は、必ず抽出後に氷を入れてください。また、コーヒーがあふれないように注意してください。

注記



水タンク、ドリッパー、サーバーに、クレジットカードや腕時計など、磁気の影響を受けるものを近づけない。

内部に磁石を使用しているため、磁気の影響を受けやすいものの誤動作や故障の原因となります。



水タンク、ドリッパー、サーバー、ドリッパースタンド、計量スプーンのお手入れに、食器洗い機や乾燥機を使用しない。

熱による変色、変形、故障の原因となります。

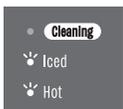


コーヒー粉を入れる前に、必ずペーパーフィルターをセットする。

ドリッパーやサーバーの汚れ、故障の原因となります。

エラーが表示されたときは

トラブルが発生した場合、エラー音が鳴り、操作パネルの動作表示ランプとインジケーターが点滅します。

エラー表示	●確認する / ▶こうする
サイズインジケーターが点滅する。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>	<ul style="list-style-type: none"> ●水タンクに水が入っていますか？確実に取り付けていますか？ ▶水が入っていることを確認し、水タンクを確実に取り付けてください。スタートボタンを押すと再開します。
CleaningとIcedが点滅する。 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> ●ドリッパーが正しく取り付けられていますか？付属品以外のドリッパーを取り付けていませんか？ ▶P.8を参照し、付属品のドリッパーを確実に取り付けてください。スタートボタンを押すと再開します。
IcedとHotが点滅する。 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> ●サーバーが正しく取り付けられていますか？付属品以外のサーバーを取り付けていませんか？ ▶P.8を参照し、付属品のサーバーを確実に取り付けてください。スタートボタンを押すと再開します。
モード、サイズインジケーターがすべて点滅する。 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> ▶内部の故障が考えられます。電源を切ってから電源プラグを抜き、バルミューダサポートセンター(P.5)へご連絡ください。

こんなときは

こんなとき	●確認する / ▶こうする
お湯がおおう。お湯の出が悪い。	<ul style="list-style-type: none"> ●最後に使用してから長期間経過していませんか？ ▶長期間使用しなかった場合は、「湯通しする」(P.7)を行ってください。 ●クエン酸洗浄をした後に、充分すすぎましたか？ ▶P.11を参照し、汚れやクエン酸のにおいが残らないように、充分すすぎてください。 ●本体と水タンクの接続部に異物が詰まっていますか？ ▶無理に取り除こうとすると、故障の原因となります。バルミューダサポートセンター(P.5)へご連絡ください。
お湯の出口に乳白色の粒がつく。	<ul style="list-style-type: none"> ▶使用しているうちに水アカが付着する場合があります。健康への影響はありません。気になる場合は、「洗浄運転」(P.11)を行った後、柔らかい布などで拭き取ってください。
電源ボタンを押してもランプがつかない。	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグをコンセントに差し込んでいますか？ ▶電源プラグをコンセントに差し込んでください。
お湯が出ない。コーヒーが抽出されない。	<ul style="list-style-type: none"> ●水タンクに水が入っていますか？確実に取り付けていますか？ ▶水が入っていることを確認し、水タンクを確実に取り付けてください。 ●お湯の出口に異物が詰まっていますか？ ▶無理に取り除こうとすると、故障の原因となります。バルミューダサポートセンター(P.5)へご連絡ください。 ●ドリッパーやサーバーが正しく取り付けられていますか？付属品以外のドリッパーを取り付けていませんか？サーバー用フタが開いていませんか？ ▶P.8を参照し、付属品のドリッパーとサーバーを確実に取り付けてください。
抽出後、水タンク内に水が残る。	<ul style="list-style-type: none"> ▶故障ではありません。本製品は、抽出モード、サイズごとに最適な湯量を緻密に計測しています。水タンクの目盛りに合わせて水をセットした場合でも、抽出後に水が残る仕様です。抽出後、水タンク内に残っている水を捨ててください。
コーヒーがあふれる。	<ul style="list-style-type: none"> ●サーバーに牛乳や水を入れていませんか？以前に抽出したコーヒーが残っていませんか？ ▶サーバーは空の状態ですべて抽出してください。 ●サーバー用フタやサーバーを、確実に取り付けていますか？ ▶サーバー用フタやサーバーがずれていると、コーヒーがあふれる場合があります。P.8を参照し、確実に取り付けてください。
コーヒーが濃い、または薄い。	<ul style="list-style-type: none"> ●付属品、別売品、または市販の、1～4杯用の円錐形のペーパーフィルターを使用していますか？コーヒー粉の量は適切ですか？サイズを正しく設定していますか？ ▶P.7、8を参照し、適切なペーパーフィルターとコーヒー粉をセットしてください。コーヒー粉の量、挽き目、焙煎度、鮮度によって濃度が変化します。また、コーヒー粉の量に合わせてサイズを設定してください。
コーヒーがぬるい。	<ul style="list-style-type: none"> ●ドリッパー、サーバー、カップが冷えていませんか？ ▶使用環境により、ドリッパー、サーバー、カップが冷えている場合があります。事前にお湯で温めてください。

別売品

K06A(バルミューダオリジナルモデル)と共通の消耗品・パーツをオンラインストアにて販売しています。水タンク、ドリッパー、サーバーはK06Aとデザインが異なります。ご購入を希望される場合は、バルミューダサポートセンターへご連絡ください。

ご購入はこちらから <https://www.balmuda.com/jp/supply/>



品名	型番
ペーパーフィルター(100枚)	OPF-100
水タンク用フタ	K06-C100
サーバー用フタ	K06-E100
計量スプーン	K06-F100
ドリッパースタンド	K06-G100

保証とアフターサービス

最適なサービスを実践にお受けいただくため、製品ユーザー登録をお願いします。修理に関するご相談ならびに製品のお取り扱い、お手入れに関するご相談はバルミューダサポートセンターまでお気軽にご連絡ください。

- 保証期間は、お買い上げ日から1年です。購入証明書(領収書、納品書など)で保証期間内であることが確認できる場合に限り、無償で修理または交換いたします。購入証明書を大切に保管してください。
- 修理・交換作業は弊社が承ります。また、修理・交換のために取り外した部品は、弊社が適切に処理、処分いたします。
- 本製品の補修用性能部品の保有期間は生産終了後5年です。補修用性能部品とは本製品の機能を維持するために必要な部品です。
- この製品は日本国内交流100V専用で設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる日本国外では使用できません。また、アフターサービスもご利用いただけません。

This product uses only 100V(volts)AC, which is specifically designed for use in Japan. It cannot be used in other countries with different voltage, power frequency requirements, or receive after sales service abroad.

廃棄について

本製品およびその一部を廃棄する際は、お住まいの地域の規則に従ってください。

譲渡について

譲渡をされる場合、本製品お買い上げ時の付属品および本取扱説明書も付属してください。また、BALMUDA IDのマイページから製品登録の削除をお願いします。



バルミューダサポートセンター

電話

☎ 0120-686-717 受付時間 9:00-18:00 (年中無休)

通話料無料。携帯・PHSからもご利用になれます。/IP電話など無料通話サービスをご利用いただけない場合は0422-34-1705におかけください。※通話料はお客様負担となります。

WEB

バルミューダ サポート

製品ごとのサポート情報ページに、よくあるご質問と回答を掲載しています。お問い合わせ前にご覧ください。

右記をご用意いただくと円滑に対応できます



- 取扱説明書および保証書(本書)
- 製品シリアルナンバー(本体底面、梱装箱)
- 購入証明書(領収書、納品書など)

バルミューダ株式会社 〒180-0023 東京都武蔵野市境南町 5-1-21

保証書

この保証書は保証期間中に取扱説明書、本体ラベル、その他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合、本書記載内容で弊社が無償修理を行うことをお約束するものです。従って、この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

修理・保証の詳細については、修理規約をご覧ください。

▶ www.balmuda.com/jp/legal/repair

修理等のご相談時にいただいた個人情報のお取り扱いについて

- バルミューダ株式会社は、お客様の個人情報をお客様の対応や修理およびその確認時に利用し、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
- 次の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供することはありません。
 - 修理やその確認業務、輸配送を委託する場合。
 - 法令の定める規定に基づく場合。

バルミューダのプライバシーポリシーについてはこちらをご覧ください。

▶ www.balmuda.com/jp/legal/privacy

無償修理をご依頼になる場合は本書に記載のバルミューダサポートセンターまでお問い合わせください。

品名：BALMUDA The Brew 型式：K06S-SB

保証期間：お買い上げ日より1年

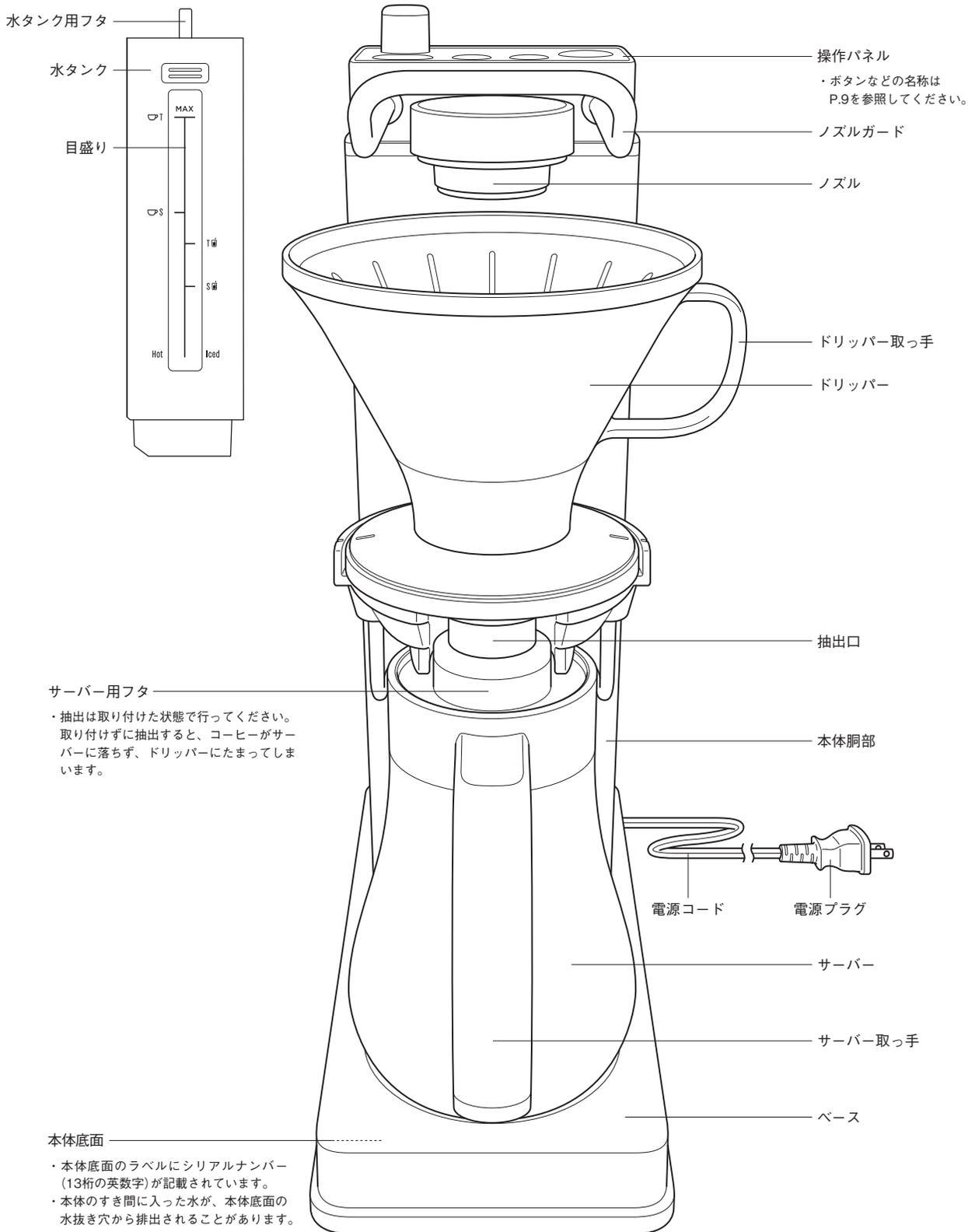
対象：本体・付属品一式(ペーパーフィルターは除く)

※お客様	お名前
	ご住所
	お電話番号
※販売店	店名
	住所
	電話番号
	お買い上げ日： 年 月 日

保証書について

- 保証期間内でも以下に該当する場合は、保証の対象外とし、弊社は一切の責任を負いません。
 - 取扱説明書、本体ラベル、その他注意書きに従わない使用状態(海外における使用を含む)に起因する故障または損傷。
 - 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - お買い上げ後の取り付け場所の移動、落下、引っ越し、輸送などによる故障または損傷。
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変ならびに公害や塩害、異常電圧、その他の外部要因による故障または損傷。
 - 車両、船舶への搭載や極端な高温、低温、多湿、埃の多い場所などで使用された場合の故障または損傷。
 - 一般家庭以外(例えば業務用など)で使用された場合の故障または損傷。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本製品のご購入を証明する購入証明書(領収書、納品書など)が無く、本書のお買い上げ日、お客様名、販売店名が確認できない場合。あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 表面的な損傷の場合(かすり傷、へこみなどを含まず)。
 - 高温多湿の場所など保存上の不備、経年劣化、自然消耗による瑕疵の場合。
 - 故障原因について虚偽の申告がなされた場合。
- 保証期間内でも商品を弊社窓口へ送付された場合の送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
- 故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合があります。
- 修理に際して再生部品、代替部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が適切に処理、処分いたします。
- 本書に基づく無償修理(製品交換を含みます)後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用されます。
- 故障によりお買い上げの製品を使用できなかったことによる損害については補償いたしません。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

BALMUDA The Brew

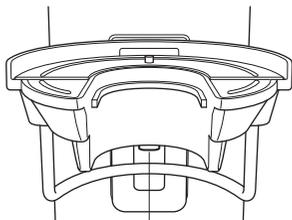


Clear Brewing Method

クリア ブリュウイング メソッド

独自の注湯メソッドと細やかな温度制御による、新しい抽出方式。

サイズ・モード設定ごとに、注湯の温度・タイミングと湯量を緻密に制御し、えぐみや雑味を抑えながらコーヒー豆本来の特徴を鮮やかに引き出します。さらにHotモードでは、抽出中のバイパス注湯により、力強い味わいとクリアな後味を両立します。



バイパス注湯口

豆の個性を引き出す 2 種類のモード

コーヒー粉の量は下記を目安量を参考に、挽き目・焙煎度に合わせてお好みで調整してください。また、ペーパーフィルター用に挽いた粉をご使用ください。

Hot

毎日飲みたくなる定番の味

サイズ	抽出量	コーヒー粉の目安量
Short	約240ml	約20g
Tall	約360ml	約25g

Iced

水で割ってアイスコーヒーや、牛乳で割ってカフェオレなどに

サイズ	抽出量	コーヒー粉の目安量
Short	約120ml	約20g
Tall	約180ml	約25g

ドリッパースタンドと計量スプーンの汚れが気になる場合は、水洗いし、よく乾かしてからご使用ください。

計量スプーンすりきり1杯あたりのコーヒー粉は約12gです。



ドリッパー
スタンド



計量スプーン

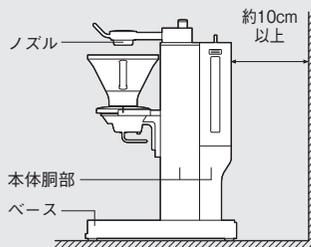
※付属の軽量スプーンは
1杯あたり約12gです。

コーヒーの抽出量はモードやサイズによって異なります。また、コーヒー粉に含まれる水分量などにより、コーヒーの抽出量が増減することがあります。

初めて使用するとき

1 設置する

ベースや本体胴部を持って運びます。周りの空間を広く空け、水平で安定した場所に設置してください。背面は約10cm以上空けることで、水タンクを取り付けやすくなります。



本体から発する蒸気、水、コーヒーが壁、家具、天井などにかからないよう、間隔を広く空ける。汚れると困るものを周囲に置かない。

本製品はコーヒーの抽出中に蒸気が発生します。蒸気はノズルを中心に、周囲に約30cm以上、上方向に約70cm以上届くことがあります。周辺物に蒸気、コーヒーがかかると、変色や変形などの原因となります。

2 湯通しする

初めて使用するときや、長期間使用しなかったときは、湯通しを行い内部を洗浄してください。



湯通しでは、ペーパーフィルターとコーヒー粉を使用しない。



1 ドリッパー、サーバーを水洗いする

P.8 ①-①の手順でドリッパーを取り外す。ドリッパーとサーバーを水洗いする。



ドリッパー



サーバー

2 湯通しする

P.8 ①-③ ~ P.9 ③を参照し、水だけで運転する。

水は、目盛りのHotのマークまで入れる。モードはHotモード、サイズはTallを選択する。

3 水を捨てる

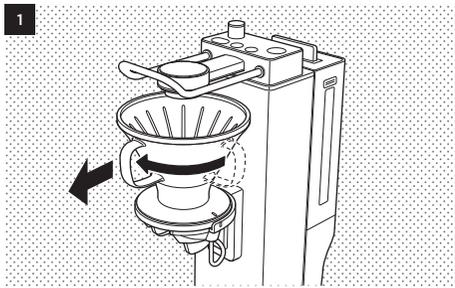
サーバーにたまったお湯と、水タンクに残った水を捨てる。



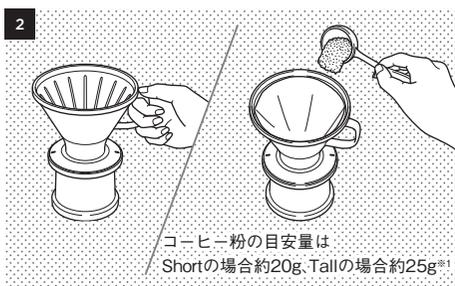
湯通し中はお湯や蒸気が出るので、顔や手を近づけないよう注意する。ヤケドの原因となります。

コーヒーをいれる

1 コーヒー粉をセットする



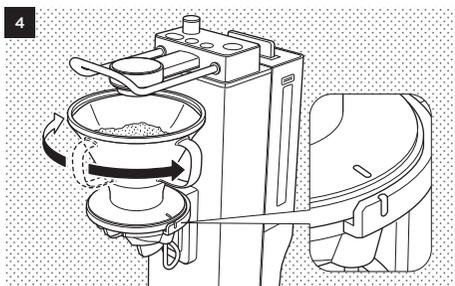
ドリッパー取っ手が正面に向くよう、ドリッパーを90度回して本体から取り外す。



ドリッパーをドリッパースタンドに置く。ペーパーフィルター*2の縦ぎ目を折り、セットする。計量スプーンでサイズに合わせた分量のコーヒー粉を入れる。



ドリッパーを図のように持ち、そのまま正面からまっすぐ本体に差し込む。

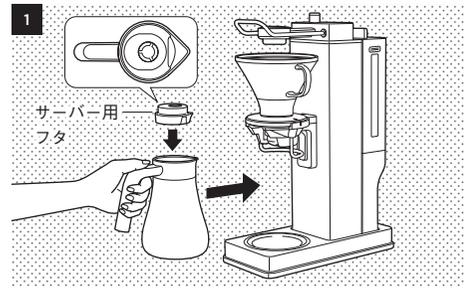


右または左に、マークが合うように90度回して取り付ける。

※1 コーヒー粉の量はP.7の目安量を参照し、お好みで調整してください。

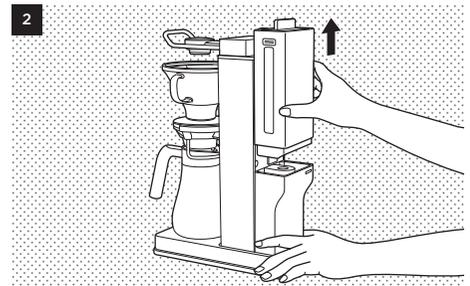
※2 ペーパーフィルターは、付属品、別売品、または市販の、1~4杯用の円錐形をご使用ください(別途ご購入いただけます。「別売品」(P.5)を参照してください)。

2 水タンクに水を入れる

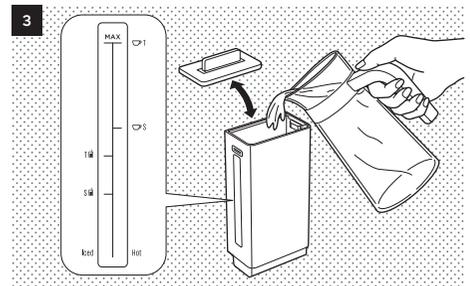


サーバー用フタを取り付けた空のサーバーを持ち、まっすぐ本体に取り付ける。

! サーバー用フタを取り外した状態で抽出しない。抽出前のサーバーに氷などを入れない。コーヒーがあふれて、ヤケド、感電の原因となります。

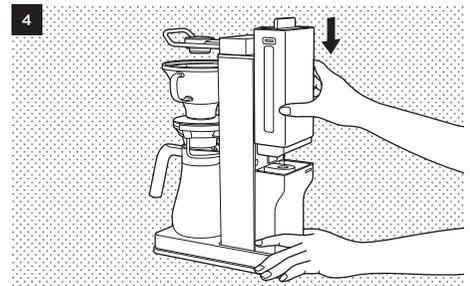


本体を押さえながら水タンクの側面を持ち、本体から引き抜く。



水タンク用フタを取り外し、目盛りに合わせて水を入れる (Shortの場合はS、Tallの場合はTの目盛りに合わせる)。水タンク用フタを取り付ける。

! 水タンクのMAXの刻印より多く水を入れない。感電、故障の原因となります。



本体を押さえながら水タンクの側面を持ち、本体に戻す。

コーヒーを抽出する

- 1 電源プラグをコンセントに差し込む。電源ボタンを押して電源を入れる。



動作表示ランプと電源表示インジケータが点灯します。モードインジケータとサイズインジケータは、前回選択した内容が点灯します。

- 2 モードボタンを押し、モードを選択する。



- 3 サイズボタンを押し、サイズを選択する。



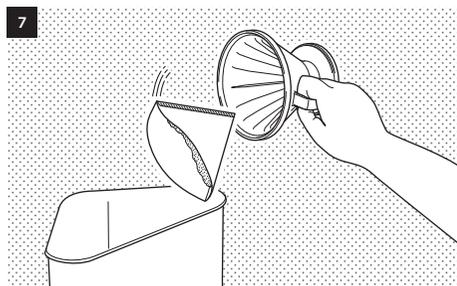
- 4 スタートボタンを押す。



抽出を開始します。抽出時間は約5~7分です。モードや気温によって異なります。

- 5 抽出が終わり、動作表示ランプが消灯していることを確認する。

- 6 ドリッパーの中にお湯が残っていないことを確認する。



ドリッパーを取り外し、ペーパーフィルターとコーヒー粉を捨てる。水タンク内に残った水も捨てる。

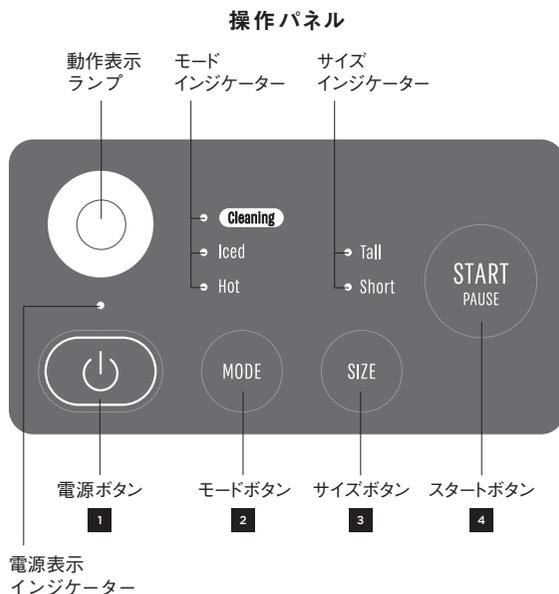
- 8 電源プラグをコンセントから抜く。

※抽出を一時停止したいときは、スタートボタンを押してください。再度スタートボタンを押すと再開します。

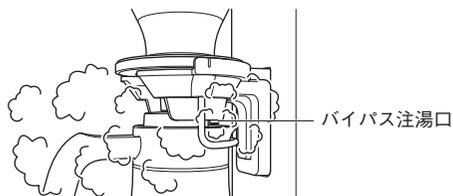
※電源を入れただけの状態や一時停止の状態、5分間放置すると、自動的に電源が切れます。

※抽出中に電源ボタンを押すと抽出を中止します。それでも抽出が止まらないときは電源プラグを抜いてください。

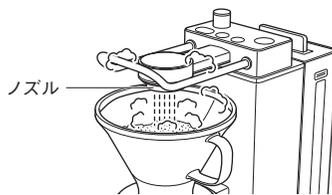
! 抽出を中止した場合、しばらくの間は、操作パネル、ドリッパー取っ手、サーバー取っ手、電源プラグ以外に触れない。数秒間はお湯や蒸気が出続けることがあります。



抽出中の本体の動作



動作音が鳴り、ヒーターの予熱が始まります。Hotモードの場合、予熱が終わると、バイパス注湯口から蒸気が出て、サーバーを温めます。



ノズルからお湯が出て、25秒ほどコーヒー粉を蒸らします。

その後、お湯が出たり止まったりを繰り返しながら、抽出します。

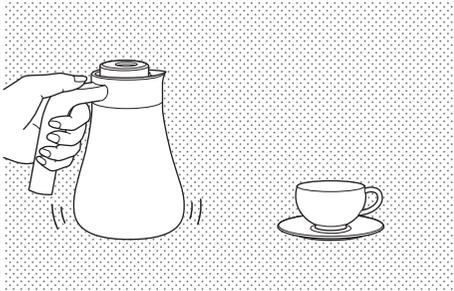
抽出が終わると完了音が鳴り、動作表示ランプが消灯します。

自動的に電源が切れます。

! 抽出中は、ノズルや抽出口、バイパス注湯口に顔や手を近づけない。抽出中は周囲に蒸気が広がります。ヤケドの恐れがありますので、ご注意ください。

コーヒーを注ぐ

Hotの場合



- 1 サーバーを本体から取り外す。
- 2 コーヒーの濃さを整えるために、サーバーを軽く揺する。
- 3 コーヒーをカップに注ぐ。
サーバーにコーヒーが残らないよう、注ぎ切ってください。

Icedの場合



- 1 サーバーを本体から取り外す。
- 2 抽出後のサーバーに適量の水を入れる。
水を入れることで、濃さが整い、カップに入れた氷が溶けにくくなります。
抽出直後はサーバー用フタが熱いため、ご注意ください。
- 3 コーヒーを冷やしつつ濃さを整えるために、サーバーを軽く揺する。
- 4 耐熱性グラス、またはカップに適量の氷を入れる。
- 5 コーヒーを耐熱性グラス、またはカップに注ぐ。
サーバーにコーヒーが残らないよう、注ぎ切ってください。

お手入れ

こまめにお手入れして清潔にご使用ください。

使用するたびに行うお手入れ

水拭き (本体) 電源プラグを抜き、本体が冷えてから行います。固く絞った布などで本体を水拭きし、水気が残らないよう柔らかい布などで拭いて乾かします。

水洗い 以下の部品は水洗いできます。電源プラグを抜き、本体が冷えてから行います。水洗い後はよく乾かします。



水タンク

ドリッパー

サーバー



ドリッパースタンド



計量スプーン

- ・洗剤でお手入れするときは食器用洗剤(中性)を使用し、水で十分に洗い流した後、柔らかい布などで拭いて乾かしてください。水分が残っていると樹脂などの劣化、変色、水アカの付着の原因となります。
- ・スポンジや、やわらかい布などを使用してください。
- ・アルコール、酸性やアルカリ性の洗剤、ベンジン、シンナー、磨き粉、タワシなどは使用しないでください。
- ・食器洗い機や乾燥機を使用しないでください。

※ドリッパースタンドと計量スプーンは汚れが気になったら洗ってください。

1ヶ月に1回程度、定期的に行う / 保管時に行うお手入れ

洗浄運転 クエン酸水を使用して行う、本体の洗浄運転です。クエン酸(大さじ1杯)を用意します。クエン酸水洗浄の後に真水によるすすぎ・水の排出を行います。

クエン酸水洗浄

- 1 コーヒー粉とペーパーフィルターを入れずに、ドリッパーと、サーバー用フタを取り付けた空のサーバーを本体に取り付ける。
 - 2 別の容器にクエン酸大さじ1杯と水500mlを入れ、よく混ぜ、クエン酸水を作る。水タンクを本体から取り外す。水タンクにHotの□↑までクエン酸水を入れ、本体に戻す。
 - 3 電源プラグをコンセントに差し込み、電源ボタンを押す。
 - 4 Hotモード、Tallサイズを選択し、スタートボタンを押す。
- Hot● Tall
- お湯や蒸気が出ますのでご注意ください。
クエン酸水による洗浄が終わると、完了音が鳴ります。
- 5 サーバーにたまったクエン酸水と、水タンクに残っているクエン酸水を捨てる。

真水によるすすぎ・水の排出

- 6 水タンクを本体から取り外す。水タンクにHotの□↑まで水を入れ、本体に戻す。サーバー用フタを取り付けた空のサーバーを本体に取り付ける。
 - 7 電源ボタンを押す。モードボタンを長押ししてCleaningモードを選択する。スタートボタンを押し、すすぎを開始する。
- Cleaning**
- 真水によるすすぎが終わり、本体内部の水がサーバーに排出されると、完了音が鳴ります。
- 8 サーバーにたまった水を捨てる。
 - 9 6～8を繰り返す。
汚れやクエン酸のにおいが気にならなくなったら終了です。
 - 10 電源プラグをコンセントから抜く。
 - 11 固く絞った布などで本体を水拭きし、水気が残らないよう柔らかい布などで拭いて乾かす。

仕様

用途	家庭用、屋内用
寸法	幅(W)140mm × 奥行(D)297mm × 高さ(H)379mm (本体に水タンク、ドリッパー、サーバーを取り付けた状態。電源コードは除く。)
質量	約3.4kg (本体に水タンク、ドリッパー、サーバーを取り付けた状態。)
電源コード長さ	約1.0m
最大容量	サーバー：約500ml、水タンク：約490ml

サーバー素材	ステンレス (真空二重構造)、PP
抽出方法	オーブンドリップ式
抽出モード	Hot・Iced
抽出サイズ	Short・Tall Hot：約240ml・約360ml Iced：約120ml・約180ml
抽出時間	約5～7分 (モードや気温によって異なります。)
定格	AC100V、1450W、50-60Hz